

2019年度

# 学生シラバス

(本科・専科 実習編)

学校法人 葛谷学園

中和医療専門学校

# 学生シラバス（本・専科実習編）

## 2019年

### 実習

#### <到達目標>

#### [1年]

- ・ あん摩・はり・きゅうの基本動作を繰り返し練習する事により、正確に、確実にかつ、安全に行う事ができる。

#### [2年]

- ・ 基本動作の練習に加え、代表的な症候に対して模擬施術を行う事ができる。

#### [3年]

- ・ 本校の附属治療所において、東洋医学的・西洋医学的な理論を踏まえた臨床実習を担当教員の指示の基に行う事ができる。

## 目 次

### 『あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう科 (本科)』

#### [1 年生] P 1

- ・ あん摩基礎実習
- ・ はり基礎実習 H-I
- ・ きゅう基礎実習 H
- ・ あん摩応用実習 I

#### [2 年生] P 13

- ・ マッサージ基礎実習
- ・ 指圧基礎実習
- ・ 特殊鍼法 H-I
- ・ 特殊鍼法 H-II
- ・ あん摩応用実習 II
- ・ あん摩マッサージ指圧応用実習
- ・ はり、きゅう応用実習 H-I
- ・ はり、きゅう応用実習 H-II
- ・ はり、きゅう応用実習 H-III
- ・ 臨床実習入門 H-I
- ・ 臨床実習入門 H-II
- ・ 臨床実習 H

#### [3 年生] P 43

- ・ 関連療法 H-I
- ・ 関連療法 H-II
- ・ はりきゅう応用実習 H-IV
- ・ はりきゅう応用実習 H-V
- ・ はりきゅう応用実習 H-VI
- ・ あん摩マッサージ指圧総合実習
- ・ はりきゅう総合実習 H
- ・ 臨床実習 H

『はり、きゅう科（専科）』

[1年生] P 61

- ・ はり基礎実習 S
- ・ きゅう基礎実習 S-I

[2年生] P 65

- ・ 特殊鍼法 S-I
- ・ 特殊鍼法 S-II
- ・ きゅう基礎実習 S-II
- ・ はり、きゅう応用実習 S-I
- ・ はり、きゅう応用実習 S-II
- ・ はり、きゅう応用実習 S-III
- ・ はり、きゅう応用実習 S-IV
- ・ 臨床実習入門 S-I
- ・ 臨床実習入門 S-II
- ・ 臨床実習 S

[3年生] P 77

- ・ 関連療法 S-I
- ・ 関連療法 S-II
- ・ はりきゅう応用実習 S-V
- ・ はりきゅう応用実習 S-VI
- ・ はりきゅう応用実習 S-VII
- ・ はりきゅう応用実習 S-VIII
- ・ はりきゅう総合実習 S-I
- ・ はりきゅう総合実習 S-II
- ・ 臨床実習 S

# 本科1年生

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	前期
科目名	あん摩基礎実習	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	右田 一弘	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線状揉捏を練習する。</li> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> <li>・あん摩の基本7手技について、その意義や作用を理解し、実際に行う。</li> <li>・身体各部のあん摩施術(肩背部、上肢部、頸部、頭部、腰部、下肢部、胸腹部)を実際に行う。</li> </ul> <p>※ 坐位における上半身あん摩施術ができ、臥位における全身あん摩施術もできるよう練習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本手技と技術を習得し、坐位および臥位によるあん摩施術が適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。</li> </ul> <p>(必修到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和式あん摩施術の手順に沿って、側臥位での肩上部(第1・2・3線)および腰背部(第1・2・3線)に対して母指圧迫が行える。</li> </ul>				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</p> <p>定期試験60点で基本手技について評価する。授業態度、身だしなみ等治療師としての評価を行う(20点)。</p> <p>上達度について10点で評価する。出席について1コマ欠席▲3点、遅刻▲1点で評価する。</p>				
使用 機器,教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手ぬぐい</li> </ul>				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	身体各部への施術 ⑥
2	基本手技 ①	17	身体各部への施術 ⑦
3	基本手技 ②	18	身体各部への施術 ⑧
4	基本手技 ③	19	身体各部への施術 ⑨
5	基本手技 ④	20	身体各部への施術 ⑩
6	基本手技 ⑤	21	身体各部への施術 ⑪
7	基本手技 ⑥	22	身体各部への施術 ⑫
8	基本手技 ⑦	23	身体各部への施術 ⑬
9	基本手技 ⑧	24	身体各部への施術 ⑭
10	基本手技 ⑨	25	身体各部への施術 ⑮
11	身体各部への施術 ①	26	身体各部への施術 ⑯
12	身体各部への施術 ②	27	身体各部への施術 ⑰
13	身体各部への施術 ③	28	身体各部への施術 ⑱
14	身体各部への施術 ④	29	まとめ・総括①
15	身体各部への施術 ⑤	30	まとめ・総括②

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	前期
科目名	あん摩基礎実習	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	村松 篤	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線状揉捏を練習する。</li> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> <li>・あん摩の基本7手技について、その意義や作用を理解し、実際に行う。</li> <li>・身体各部のあん摩施術(肩背部、上肢部、頸部、頭部、腰部、下肢部、胸腹部)を実際に行う。</li> </ul> <p>※ 坐位における上半身あん摩施術ができ、臥位における全身あん摩施術もできるよう練習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本手技と技術を習得し、坐位および臥位によるあん摩施術が適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。</li> </ul> <p>(必修到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和式あん摩施術の手順に沿って、側臥位での肩上部(第1・2・3線)および腰背部(第1・2・3線)に対して母指圧迫が行える。</li> </ul>				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</p> <p>定期試験100点</p> <p>1回の授業に対して、欠席-3点、遅刻・早退-1点(正当な理由がある場合は除く)</p> <p>態度:0~-50点(治療師として相応しくない態度・心構えを全て含む)</p>				
使用 機器,教材	・手ぬぐい				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	身体各部への施術 ⑥
2	基本手技 ①	17	身体各部への施術 ⑦
3	基本手技 ②	18	身体各部への施術 ⑧
4	基本手技 ③	19	身体各部への施術 ⑨
5	基本手技 ④	20	身体各部への施術 ⑩
6	基本手技 ⑤	21	身体各部への施術 ⑪
7	基本手技 ⑥	22	身体各部への施術 ⑫
8	基本手技 ⑦	23	身体各部への施術 ⑬
9	基本手技 ⑧	24	身体各部への施術 ⑭
10	基本手技 ⑨	25	身体各部への施術 ⑮
11	身体各部への施術 ①	26	身体各部への施術 ⑯
12	身体各部への施術 ②	27	身体各部への施術 ⑰
13	身体各部への施術 ③	28	身体各部への施術 ⑱
14	身体各部への施術 ④	29	まとめ・総括①
15	身体各部への施術 ⑤	30	まとめ・総括②

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	前期
科目名	あん摩基礎実習	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線状揉捏を練習する。</li> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> <li>・あん摩の基本7手技について、その意義や作用を理解し、実際に行う。</li> <li>・身体各部のあん摩施術(肩背部、上肢部、頸部、頭部、腰部、下肢部、胸腹部)を実際に行う。</li> </ul> <p>※ 坐位における上半身あん摩施術ができ、臥位における全身あん摩施術もできるよう練習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本手技と技術を習得し、坐位および臥位によるあん摩施術が適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。</li> </ul> <p>(必修到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和式あん摩施術の手順に沿って、側臥位での肩上部(第1・2・3線)および腰背部(第1・2・3線)に対して母指圧迫が行える。</li> </ul>				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</p> <p>①中間試験:30点 ②定期試験:50点、③平常点:20点</p> <p>※ ただし1欠席につき-3点、1遅刻または1早退につき-1点を減点する。</p>				
使用 機器,教材	・手ぬぐい				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	身体各部への施術 ⑥
2	基本手技 ①	17	身体各部への施術 ⑦
3	基本手技 ②	18	身体各部への施術 ⑧
4	基本手技 ③	19	身体各部への施術 ⑨
5	基本手技 ④	20	身体各部への施術 ⑩
6	基本手技 ⑤	21	身体各部への施術 ⑪
7	基本手技 ⑥	22	身体各部への施術 ⑫
8	基本手技 ⑦	23	身体各部への施術 ⑬
9	基本手技 ⑧	24	身体各部への施術 ⑭
10	基本手技 ⑨	25	身体各部への施術 ⑮
11	身体各部への施術 ①	26	身体各部への施術 ⑯
12	身体各部への施術 ②	27	身体各部への施術 ⑰
13	身体各部への施術 ③	28	身体各部への施術 ⑱
14	身体各部への施術 ④	29	まとめ・総括①
15	身体各部への施術 ⑤	30	まとめ・総括②



## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学期	通年
科目名	はり基礎実習H	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	清水 洋二	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> <li>・鍼の基本的手技と技術を習得し、適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。</li> <li>・施術部位・術者の手指・鍼具等の消毒を習慣化する。施術における諸注意を理解する。</li> <li>・はりきゅう実技(基礎編)第1章基礎実習の2、鍼の基本実技(P9～28)を練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片手挿管法がスムーズにできる。</li> <li>・刺鍼法の使い分けが適確にできる。</li> </ul> (必修到達目標) <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和式基礎マニュアルに沿った、管鍼法・撚鍼法の一連の流れができる。</li> <li>・現行17手技ができる。</li> <li>・無理のない姿勢で手技が行える。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験(前期・後期)に平常点(出席等)を考慮し評価する。				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番 銀 鍼 : 寸3-2番、寸6-2番 指サック、グローブ、オートクレーブ				
使用テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	まとめ・総括 ②
2	消毒法、鍼の基本実技 ①	17	刺入の練習 ①
3	施術上の注意、鍼基本実技 ②	18	刺鍼中の手技 ①
4	施術上の注意、鍼基本実技 ③	19	刺鍼中の手技 ②
5	施術上の注意、鍼基本実技 ④	20	刺鍼中の手技 ③
6	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑤	21	刺鍼中の手技 ④
7	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑥	22	刺鍼中の手技 ⑤
8	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑦	23	刺鍼の実際 ①
9	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑧	24	刺鍼の実際 ②
10	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑨	25	刺鍼の実際 ③
11	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑩	26	刺鍼の実際 ④
12	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑪	27	刺鍼の実際 ⑤
13	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑫	28	刺鍼の実際 ⑥
14	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑬	29	まとめ・総括 ③
15	まとめ・総括 ①	30	まとめ・総括 ④

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学期	通年
科目名	はり基礎実習H	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	加藤 俊亮	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> <li>・鍼の基本的手技と技術を習得し、適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。</li> <li>・施術部位・術者の手指・鍼具等の消毒を習慣化する。施術における諸注意を理解する。</li> <li>・はりきゅう実技(基礎編)第1章基礎実習の2、鍼の基本実技(P9～28)を練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片手挿管法がスムーズにできる。</li> <li>・刺鍼法の使い分けが適確にできる。</li> </ul> <p>(必修到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和式基礎マニュアルに沿った、管鍼法・撚鍼法の一連の流れができる。</li> <li>・現行17手技ができる。</li> <li>・無理のない姿勢で手技が行える。</li> </ul>				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</p> <p>平常点40%(授業態度、出席状況、実技チェック等)、前期中に行う実技試験30%、後期定期試験30%</p> <p>正当な理由の無い欠席は1回につき-5点、遅刻早退は1回につき-3点</p>				
使用機器,教材	<p>ディスプレイダブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番</p> <p>銀 鍼 :寸3-2番、寸6-2番</p> <p>指サック、グローブ、オートクレーブ</p>				
使用テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	まとめ・総括 ②
2	消毒法、鍼の基本実技 ①	17	刺鍼中の手技 ①
3	施術上の注意、鍼基本実技 ②	18	刺鍼中の手技 ②
4	施術上の注意、鍼基本実技 ③	19	刺鍼中の手技 ③
5	施術上の注意、鍼基本実技 ④	20	刺鍼中の手技 ④
6	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑤	21	刺鍼の実際 ①
7	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑥	22	刺鍼の実際 ②
8	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑦	23	刺鍼の実際 ③
9	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑧	24	刺鍼の実際 ④
10	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑨	25	刺鍼の実際 ⑤
11	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑩	26	刺鍼の実際 ⑥
12	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑪	27	刺鍼の実際 ⑦
13	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑫	28	まとめ・総括 ③
14	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑬	29	まとめ・総括 ④
15	まとめ・総括 ①	30	まとめ・総括 ⑤

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学期	通年
科目名	はり基礎実習H	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	高柳 好博	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> <li>・鍼の基本的手技と技術を習得し、適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。</li> <li>・施術部位・術者の手指・鍼具等の消毒を習慣化する。施術における諸注意を理解する。</li> <li>・はりきゅう実技(基礎編)第1章基礎実習の2、鍼の基本実技(P9～28)を練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片手挿管法がスムーズにできる。</li> <li>・刺鍼法の使い分けが適確にできる。</li> </ul> <p>(必修到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中和式基礎マニュアルに沿った、管鍼法・撚鍼法の一連の流れができる。</li> <li>・現行17手技ができる。</li> <li>・無理のない姿勢で手技が行える。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、授業態度、出席等を考慮し評価する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番 銀 鍼 : 寸3-2番、寸6-2番 指サック、グローブ、オートクレーブ				
使用 テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	授業内容の復習を心掛けてください。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	まとめ・総括 ②
2	消毒法、鍼の基本実技 ①	17	刺鍼中の手技 ①
3	施術上の注意、鍼基本実技 ②	18	刺鍼中の手技 ②
4	施術上の注意、鍼基本実技 ③	19	刺鍼中の手技 ③
5	施術上の注意、鍼基本実技 ④	20	刺鍼中の手技 ④
6	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑤	21	刺鍼の実際 ①
7	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑥	22	刺鍼の実際 ②
8	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑦	23	刺鍼の実際 ③
9	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑧	24	刺鍼の実際 ④
10	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑨	25	刺鍼の実際 ⑤
11	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑩	26	刺鍼の実際 ⑥
12	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑪	27	刺鍼の実際 ⑦
13	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑫	28	まとめ・総括 ③
14	刺鍼の方法、鍼基本実技 ⑬	29	まとめ・総括 ④
15	まとめ・総括 ①	30	まとめ・総括 ⑤

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学期	通年
科目名	きゅう基礎実習H	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	池田 弘明	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施術上の注意について、その意義を理解する。</li> <li>・灸施術の準備を適切に行う。</li> <li>・有痕灸の基本型・同時複数点施灸の練習・無痕灸(温灸)・灸の補瀉について・隔物灸などについて実際に行い、身体各部に施灸を行えるように繰り返し練習する。</li> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> </ul>				
到達目標	指示された灸法が適切にできる。 (必修到達目標) 1分間連続施灸を3壮以上行うことができる (半米粒大もしくは米粒大)				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、授業態度、出席で評価する。				
使用機器,教材	・艾、線香、各種温熱灸、施灸練習器、和紙、灸点ペン、竹筒、ガーゼ、灸点紙、ライター				
使用テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	前期復習・無痕灸③
2	艾の解説①、基本実技①	17	まとめ・総括②
3	艾の解説②、基本実技②	18	灸術の実際、隔物灸①
4	艾解説③、線香の解説、基本実技③	19	灸術の実際、隔物灸②
5	灸術の実際、有痕灸①	20	灸術の実際、隔物灸③
6	灸術の実際、有痕灸②	21	灸術の実際、隔物灸④
7	灸術の実際、有痕灸③	22	灸術の実際、隔物灸⑤
8	灸術の実際、有痕灸④	23	灸術の実際、各種温灸①
9	灸術の実際、有痕灸⑤	24	灸術の実際、各種温灸②
10	灸術の実際、有痕灸⑥、透熱灸・焦灼灸・打膿灸の説明①	25	灸術の実際、各種温灸③
11	灸術の実際、有痕灸⑦、透熱灸・焦灼灸・打膿灸の説明②、七分灸の説明	26	復習、各種温灸④
12	灸術の実際、有痕灸⑧	27	復習、灸術の実際、有痕灸⑩
13	灸術の実際、有痕灸⑨、無痕灸①、糸状灸の説明	28	無痕灸④
14	灸術の実際、有痕灸⑩、無痕灸②	29	まとめ・総括③
15	まとめ・総括①	30	まとめ・総括④

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学期	通年
科目名	きゅう基礎実習H	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	渡邊 和隆	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施術上の注意について、その意義を理解する。</li> <li>・灸施術の準備を適切に行う。</li> <li>・有痕灸の基本型・同時複数点施灸の練習・無痕灸(温灸)・灸の補瀉について・隔物灸などについて実際に行い、身体各部に施灸を行えるように繰り返し練習する。</li> <li>・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。</li> </ul>				
到達目標	指示された灸法が適切にできる。 (必修到達目標) 1分間連続施灸を3壮以上行うことができる (半米粒大もしくは米粒大)				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験(90点)、レポート(10点) 平常評価(遅刻 -1点、早退 -1点、欠席 -2点、授業態度など)を勘案し評価する。				
使用機器,教材	・艾、線香、各種温熱灸、施灸練習器、和紙、灸点ペン、竹筒、ガーゼ、灸点紙、ライター				
使用テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	火を扱う実習の為、火傷に注意し慎重な態度で授業に臨んでください。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	まとめ・総括②
2	艾の解説①、基本実技①	17	前期復習・無痕灸③
3	艾の解説②、基本実技②	18	灸術の実際、隔物灸①
4	艾解説③、線香の解説、基本実技③	19	灸術の実際、隔物灸②
5	灸術の実際、有痕灸①	20	灸術の実際、隔物灸③
6	灸術の実際、有痕灸②	21	灸術の実際、隔物灸④
7	灸術の実際、有痕灸③	22	灸術の実際、隔物灸⑤
8	灸術の実際、有痕灸④	23	灸術の実際、各種温灸①
9	灸術の実際、有痕灸⑤	24	灸術の実際、各種温灸②
10	灸術の実際、有痕灸⑥、透熱灸・焦灼灸・打膿灸の説明①	25	灸術の実際、各種温灸③
11	灸術の実際、有痕灸⑦、透熱灸・焦灼灸・打膿灸の説明②、七分灸の説明	26	復習、各種温灸④
12	灸術の実際、有痕灸⑧	27	復習、灸術の実際、有痕灸⑩
13	灸術の実際、有痕灸⑨、無痕灸①、糸状灸の説明	28	復習・無痕灸④
14	灸術の実際、有痕灸⑩、無痕灸②	29	まとめ・総括③
15	まとめ・総括①	30	まとめ・総括④

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	後期
科目名	あん摩応用実習 I	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	右田 一弘	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線状揉捏にて練習する。</li> <li>・実技室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り治療師としての心構えを養う。</li> <li>・側臥位、伏臥位、仰臥位における全身あん摩施術を60分でできるよう練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臥位による全身あん摩施術が適切にできるまでの能力と態度を身に付け、全身あん摩施術(中和式)を時間内に行える。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験で70点で全身各部位のあん摩施術について評価する。 授業態度、身だしなみ等20点で評価する。 出席について1コマ欠席▲3点、遅刻▲1点で評価する。				
使用 機器,教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手ぬぐい</li> </ul>				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	中和式あん摩法 ①	16	中和式全身あん摩法 ⑥
2	中和式あん摩法 ②	17	中和式全身あん摩法 ⑦
3	中和式あん摩法 ③	18	中和式全身あん摩法 ⑧
4	中和式あん摩法 ④	19	中和式全身あん摩法 ⑨
5	中和式あん摩法 ⑤	20	中和式全身あん摩法 ⑩
6	中和式あん摩法 ⑥	21	中和式全身あん摩法 ⑪
7	中和式あん摩法 ⑦	22	中和式全身あん摩法 ⑫
8	中和式あん摩法 ⑧	23	中和式全身あん摩法 ⑬
9	中和式あん摩法 ⑨	24	中和式全身あん摩法 ⑭
10	中和式あん摩法 ⑩	25	中和式全身あん摩法 ⑮
11	中和式全身あん摩法 ①	26	中和式全身あん摩法 ⑯
12	中和式全身あん摩法 ②	27	まとめ・総括 ①
13	中和式全身あん摩法 ③	28	まとめ・総括 ②
14	中和式全身あん摩法 ④	29	まとめ・総括 ③
15	中和式全身あん摩法 ⑤	30	まとめ・総括 ④

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	後期
科目名	あん摩応用実習 I	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	村松 篤	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線状揉捏にて練習する。</li> <li>・実技室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り治療師としての心構えを養う。</li> <li>・側臥位、伏臥位、仰臥位における全身あん摩施術を60分でできるよう練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臥位による全身あん摩施術が適切にできるまでの能力と態度を身に付け、全身あん摩施術(中和式)を時間内に行える。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験100点 1回の授業に対して、欠席-3点、遅刻・早退-1点(正当な理由がある場合は除く) 態度:0~-50点(治療師として相応しくない態度・心構えを全て含む)				
使用 機器,教材	・手ぬぐい				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	中和式あん摩法 ①	16	中和式全身あん摩法 ⑥
2	中和式あん摩法 ②	17	中和式全身あん摩法 ⑦
3	中和式あん摩法 ③	18	中和式全身あん摩法 ⑧
4	中和式あん摩法 ④	19	中和式全身あん摩法 ⑨
5	中和式あん摩法 ⑤	20	中和式全身あん摩法 ⑩
6	中和式あん摩法 ⑥	21	中和式全身あん摩法 ⑪
7	中和式あん摩法 ⑦	22	中和式全身あん摩法 ⑫
8	中和式あん摩法 ⑧	23	中和式全身あん摩法 ⑬
9	中和式あん摩法 ⑨	24	中和式全身あん摩法 ⑭
10	中和式あん摩法 ⑩	25	中和式全身あん摩法 ⑮
11	中和式全身あん摩法 ①	26	中和式全身あん摩法 ⑯
12	中和式全身あん摩法 ②	27	まとめ・総括 ①
13	中和式全身あん摩法 ③	28	まとめ・総括 ②
14	中和式全身あん摩法 ④	29	まとめ・総括 ③
15	中和式全身あん摩法 ⑤	30	まとめ・総括 ④

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	後期
科目名	あん摩応用実習 I	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線状揉捏にて練習する。</li> <li>・実技室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り治療師としての心構えを養う。</li> <li>・側臥位、伏臥位、仰臥位における全身あん摩施術を60分のできるよう練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臥位による全身あん摩施術が適切にできるまでの能力と態度を身に付け、全身あん摩施術(中和式)を時間内に行える。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 100点満点中60点以上で合格 ①中間試験:30点 ②定期試験:50点、③平常点:20点 ※ ただし1欠席につき-3点、1遅刻または1早退につき-1点を減点とする。				
使用 機器,教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手ぬぐい</li> </ul>				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	中和式あん摩法 ①	16	中和式全身あん摩法 ⑥
2	中和式あん摩法 ②	17	中和式全身あん摩法 ⑦
3	中和式あん摩法 ③	18	中和式全身あん摩法 ⑧
4	中和式あん摩法 ④	19	中和式全身あん摩法 ⑨
5	中和式あん摩法 ⑤	20	中和式全身あん摩法 ⑩
6	中和式あん摩法 ⑥	21	中和式全身あん摩法 ⑪
7	中和式あん摩法 ⑦	22	中和式全身あん摩法 ⑫
8	中和式あん摩法 ⑧	23	中和式全身あん摩法 ⑬
9	中和式あん摩法 ⑨	24	中和式全身あん摩法 ⑭
10	中和式あん摩法 ⑩	25	中和式全身あん摩法 ⑮
11	中和式全身あん摩法 ①	26	中和式全身あん摩法 ⑯
12	中和式全身あん摩法 ②	27	まとめ・総括 ①
13	中和式全身あん摩法 ③	28	まとめ・総括 ②
14	中和式全身あん摩法 ④	29	まとめ・総括 ③
15	中和式全身あん摩法 ⑤	30	まとめ・総括 ④



# 本科2年生

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	マッサージ基礎実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	加藤 由衣	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの基本手技を理解・習得する。</li> <li>・マッサージの基本手技(6種類)、変形徒手矯正について、その意義や作用を理解し、実際に行う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの基本手技が正確にできる。</li> <li>・各手技に対し、リズム・密着性・適圧・体の体重移動がスムーズにできる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、平常点(出席点、授業態度等)。				
使用機器,教材	オイル、タルク				
使用テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	皮膚に直接触れる手技なので、適切な触れ方、手のケアを身に付けていって下さい。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	基本手技・乾性マッサージ①	17	
3	基本手技・乾性マッサージ②	18	
4	基本手技・乾性マッサージ③	19	
5	基本手技・乾性マッサージ④	20	
6	基本手技・乾性マッサージ⑤	21	
7	基本手技・乾性マッサージ⑥	22	
8	各部位の施術方法①	23	
9	基本手技・湿性マッサージ①	24	
10	基本手技・湿性マッサージ②	25	
11	基本手技・湿性マッサージ③	26	
12	基本手技・湿性マッサージ④	27	
13	基本手技・湿性マッサージ⑤	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	マッサージ基礎実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	中本 湖琴	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの基本手技を理解・習得する。</li> <li>・マッサージの基本手技(6種類)、変形徒手矯正について、その意義や作用を理解し、実際に行う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの基本手技が正確にできる。</li> <li>・各手技に対し、リズム・密着性・適圧・体の体重移動がスムーズにできる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、平常点				
使用 機器,教材	オイル、タルク				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	いつでも練習ができる様に、爪切り、手の温かさを準備しておく。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	基本手技・乾性マッサージ①	17	
3	基本手技・乾性マッサージ②	18	
4	基本手技・乾性マッサージ③	19	
5	基本手技・乾性マッサージ④	20	
6	基本手技・乾性マッサージ⑤	21	
7	基本手技・乾性マッサージ⑥	22	
8	各部位の施術方法①	23	
9	基本手技・湿性マッサージ①	24	
10	基本手技・湿性マッサージ②	25	
11	基本手技・湿性マッサージ③	26	
12	基本手技・湿性マッサージ④	27	
13	基本手技・湿性マッサージ⑤	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	指圧基礎実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	田中 重光	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・押圧操作の三原則をふまえ、指圧の理論と基本手技を習得し、その部位に適した押圧と運動操作を適確に行い、全身指圧法が時間内にできるまでの能力を身に付ける。				
到達目標	・指圧の基本である押圧操作の三原則を理解し、実際にできる。 ・全身指圧法が行える。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、平常点 欠席1回2点、遅刻1回1点減点する。				
使用 機器,教材	手ぬぐい				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 指圧三原則 基本圧法	16	
2	各部位への施術①	17	
3	各部位への施術②	18	
4	各部位への施術③	19	
5	各部位への施術④	20	
6	各部位への施術⑤	21	
7	各部位への施術⑥	22	
8	各部位への施術⑦	23	
9	各部位への施術⑧	24	
10	各部位への施術⑨	25	
11	各部位への施術⑩	26	
12	全身指圧施術60分①	27	
13	全身指圧施術60分②	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	指圧基礎実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	朝岡 徹	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・押圧操作の三原則をふまえ、指圧の理論と基本手技を習得し、その部位に適した押圧と運動操作を適確に行い、全身指圧法が時間内にできるまでの能力を身に付ける。				
到達目標	・指圧の基本である押圧操作の三原則を理解し、実際にできる。 ・全身指圧法が行える。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験70点 出席10点(全出席10点、1回欠席5点、2回欠席0点) 授業態度20点				
使用 機器,教材	手ぬぐい				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉				
留意点	指先に集中し、私語をしないこと。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 指圧三原則 基本圧法	16	
2	各部位への施術①	17	
3	各部位への施術②	18	
4	各部位への施術③	19	
5	各部位への施術④	20	
6	各部位への施術⑤	21	
7	各部位への施術⑥	22	
8	各部位への施術⑦	23	
9	各部位への施術⑧	24	
10	各部位への施術⑨	25	
11	各部位への施術⑩	26	
12	全身指圧施術60分①	27	
13	全身指圧施術60分②	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	前期
科目名	特殊鍼法H-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	二村 浩之	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(小児鍼、皮内鍼・円皮鍼、耳鍼、打鍼法、低周波鍼通電)について、その特徴を理解する。 また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験に平常点(出席など)を考慮し評価する。				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイ型鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 :小児鍼、皮内鍼、円皮鍼 打鍼器、パイオネックス、マグレイン、王不留行、パルス、電極				
使用 テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	小児鍼①	17	
3	小児鍼②	18	
4	小児鍼③	19	
5	皮内鍼・円皮鍼①	20	
6	皮内鍼・円皮鍼②	21	
7	皮内鍼・円皮鍼③	22	
8	耳鍼	23	
9	打鍼法	24	
10	低周波鍼通電①	25	
11	低周波鍼通電②	26	
12	低周波鍼通電③	27	
13	低周波鍼通電④	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	前期
科目名	特殊鍼法H-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	朝岡 徹	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(小児鍼、皮内鍼・円皮鍼、耳鍼、打鍼法、低周波鍼通電)について、その特徴を理解する。 また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験60点 中間試験10点 授業態度20点 出席10点(全出席10点、1回欠席5点、2回欠席0点)				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイ型鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 :小児鍼、皮内鍼、円皮鍼 打鍼器、パイオネックス、マグレイン、王不留行、パルス、電極				
使用 テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	医療事故には十分注意すること。鍼法によっては強刺激になる場合がある。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	小児鍼①	17	
3	小児鍼②	18	
4	小児鍼③	19	
5	皮内鍼・円皮鍼①	20	
6	皮内鍼・円皮鍼②	21	
7	皮内鍼・円皮鍼③	22	
8	耳鍼	23	
9	打鍼法	24	
10	低周波鍼通電①	25	
11	低周波鍼通電②	26	
12	低周波鍼通電③	27	
13	低周波鍼通電④	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	前期
科目名	特殊鍼法H-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	中本 湖琴	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(小児鍼、皮内鍼・円皮鍼、耳鍼、打鍼法、低周波鍼通電)について、その特徴を理解する。 また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、平常点				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイ型鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 :小児鍼、皮内鍼、円皮鍼 打鍼器、パイオネックス、マグレイン、王不留行、パルス、電極				
使用 テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	小児鍼①	17	
3	小児鍼②	18	
4	小児鍼③	19	
5	皮内鍼・円皮鍼①	20	
6	皮内鍼・円皮鍼②	21	
7	皮内鍼・円皮鍼③	22	
8	耳鍼	23	
9	打鍼法	24	
10	低周波鍼通電①	25	
11	低周波鍼通電②	26	
12	低周波鍼通電③	27	
13	低周波鍼通電④	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	



## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	特殊鍼法H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	二村 浩之	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(灸頭鍼、中国鍼、鍼の補瀉、特殊部位の刺鍼、頭鍼、良導絡)について、その特徴を理解する。また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験に平常点(出席など)を考慮し評価する。				
使用 機器,教材	ディスプレイ鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイ鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 :長鍼(3寸5番)、中国鍼(2インチ32番・3インチ32番) ノイロメーター、ひびき7号、ココロケーター、艾				
使用 テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	灸頭鍼①	16	
2	灸頭鍼②	17	
3	灸頭鍼③	18	
4	灸頭鍼④	19	
5	中国鍼①	20	
6	中国鍼②	21	
7	鍼の補瀉①	22	
8	鍼の補瀉②	23	
9	特殊部位の刺鍼①	24	
10	特殊部位の刺鍼②	25	
11	頭鍼	26	
12	良導絡①	27	
13	良導絡②	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	特殊鍼法H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	朝岡 徹	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(灸頭鍼、中国鍼、鍼の補瀉、特殊部位の刺鍼、頭鍼、良導絡)について、その特徴を理解する。また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験60点 中間試験10点 授業態度20点 出席10点(全出席10点、1回欠席5点、2回欠席0点)				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイ型鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 :長鍼(3寸5番)、中国鍼(2インチ32番・3インチ32番) ノイロメーター、ひびき7号、ココロケーター、艾				
使用 テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	医療事故には十分注意すること。鍼法によっては強刺激になる場合がある。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	灸頭鍼①	16	
2	灸頭鍼②	17	
3	灸頭鍼③	18	
4	灸頭鍼④	19	
5	中国鍼①	20	
6	中国鍼②	21	
7	鍼の補瀉①	22	
8	鍼の補瀉②	23	
9	特殊部位の刺鍼①	24	
10	特殊部位の刺鍼②	25	
11	頭鍼	26	
12	良導絡①	27	
13	良導絡②	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	特殊鍼法H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	中本 湖琴	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(灸頭鍼、中国鍼、鍼の補瀉、特殊部位の刺鍼、頭鍼、良導絡)について、その特徴を理解する。また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、平常点				
使用 機器,教材	ディスプレイ鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイ鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 :長鍼(3寸5番)、中国鍼(2インチ32番・3インチ32番) ノイロメーター、ひびき7号、ココロケーター、艾				
使用 テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	灸頭鍼①	16	
2	灸頭鍼②	17	
3	灸頭鍼③	18	
4	灸頭鍼④	19	
5	中国鍼①	20	
6	中国鍼②	21	
7	鍼の補瀉①	22	
8	鍼の補瀉②	23	
9	特殊部位の刺鍼①	24	
10	特殊部位の刺鍼②	25	
11	頭鍼	26	
12	良導絡①	27	
13	良導絡②	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	あん摩応用実習Ⅱ	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	田中 重光	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・第1学年で習得した中和式全身あん摩を復習するとともに、臨床の場で円滑に施術が行えるような知識・技術を身に付ける。				
到達目標	・7月に行われる治療奉仕で、円滑な施術を行う事ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験60点、平常点40点より、欠席1回2点、遅刻1回1点を減点する。				
使用 機器,教材	手拭い				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	平常実技も重視します。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・総合	16	
2	治療奉仕にむけて①	17	
3	治療奉仕にむけて②	18	
4	治療奉仕にむけて③	19	
5	治療奉仕にむけて④	20	
6	治療奉仕にむけて⑤	21	
7	治療奉仕にむけて⑥	22	
8	治療奉仕にむけて⑦	23	
9	治療奉仕にむけて⑧	24	
10	治療奉仕にむけて⑨	25	
11	治療奉仕にむけて⑩	26	
12	治療奉仕にむけて⑪	27	
13	治療奉仕にむけて⑫	28	
14	まとめ総括①	29	
15	まとめ総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	田中 重光	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・5疾患(腰下肢痛、膝関節痛、頸・上肢痛、五十肩、自律神経失調症)についてのあん摩・マッサージ・指圧療法を身に付ける。				
到達目標	・各疾患の特徴を理解し、適切な施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験80点、平常点20点より、欠席1回2点、遅刻1回1点を減点する。				
使用 機器,教材	手拭い、タルク、オイル				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、問診診察ハンドブック、 東洋医学臨床論〈あん摩マッサージ指圧編〉				
留意点	あん摩応用実習Ⅱをふまえ追加する部分を重視します。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、総合	16	
2	頸・上肢痛 側臥位①	17	
3	頸・上肢痛 側臥位②	18	
4	五十肩 側臥位①	19	
5	五十肩 側臥位②	20	
6	頸・上肢痛、五十肩 仰臥位①	21	
7	頸・上肢痛、五十肩 仰臥位②	22	
8	頸・上肢痛、五十肩 座位	23	
9	腰下肢痛、膝痛 腹臥位①	24	
10	腰下肢痛、膝痛 腹臥位②	25	
11	腰下肢痛、膝痛 腹臥位③	26	
12	腰下肢痛、膝痛 仰臥位①	27	
13	腰下肢痛、膝痛 仰臥位②	28	
14	自律神経失調症	29	
15	まとめ・総括	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	日向 桂代子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・5疾患(腰下肢痛、膝関節痛、頸・上肢痛、五十肩、自律神経失調症)についてのあん摩・マッサージ・指圧療法を身に付ける。				
到達目標	・各疾患の特徴を理解し、適切な施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、授業参加、意欲、態度と欠席数を総合的にみて評価する。				
使用 機器,教材	手拭い、タルク、オイル				
使用 テキスト等	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉、問診診察ハンドブック、 東洋医学臨床論〈あん摩マッサージ指圧編〉				
留意点	装飾品は授業前までに外し各自管理すること。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、総合	16	
2	頸・上肢痛 側臥位①	17	
3	頸・上肢痛 側臥位②	18	
4	五十肩 側臥位①	19	
5	五十肩 側臥位②	20	
6	頸・上肢痛、五十肩 仰臥位①	21	
7	頸・上肢痛、五十肩 仰臥位②	22	
8	頸・上肢痛、五十肩 座位	23	
9	腰下肢痛、膝痛 腹臥位①	24	
10	腰下肢痛、膝痛 腹臥位②	25	
11	腰下肢痛、膝痛 腹臥位③	26	
12	腰下肢痛、膝痛 仰臥位①	27	
13	腰下肢痛、膝痛 仰臥位②	28	
14	自律神経失調症	29	
15	まとめ・総括	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習H- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	佐藤 康彦	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (督脈、任脈、肺経、大腸経、胃経、脾経、心経、小腸経)</li> <li>・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。</li> <li>・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要経穴を実際に指示できる。</li> <li>・主要経穴に施鍼、施灸ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験にて評価(60点)及び平常実技点(40点)の合計にて評価。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技〈基礎編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 主要穴の施鍼・施灸	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈①	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈②	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈③	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、肺経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、大腸経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胃経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胃経②	23	
9	主要穴の施鍼・施灸、脾経①	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、脾経②	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、心経・小腸経①	26	
12	主要穴の施鍼・施灸、心経・小腸経②	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②	29	
15	まとめ・総括③	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習H- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	村松 篤	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (督脈、任脈、肺経、大腸経、胃経、脾経、心経、小腸経)</li> <li>・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。</li> <li>・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要経穴を実際に指示できる。</li> <li>・主要経穴に施鍼、施灸ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験100点 出席点:欠席-5点、遅刻・早退-3点(正当な理由がある場合は除く) 平常点:0~-50点(授業態度・心構えなど治療師として相応しくない場合)				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技〈基礎編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 主要穴の施鍼・施灸	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈①	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈②	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈③	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、肺経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、大腸経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胃経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胃経②	23	
9	主要穴の施鍼・施灸、脾経①	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、脾経②	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、心経・小腸経①	26	
12	主要穴の施鍼・施灸、心経・小腸経②	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②	29	
15	まとめ・総括③	30	



## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習H- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	木幡 哲子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (督脈、任脈、肺経、大腸経、胃経、脾経、心経、小腸経)</li> <li>・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。</li> <li>・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要経穴を実際に指示できる。</li> <li>・主要経穴に施鍼、施灸ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験・平常点・出席の総合評価。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技〈基礎編〉				
留意点	各自で実技復習を行う。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 主要穴の施鍼・施灸	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈①	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈②	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、任脈・督脈③	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、肺経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、大腸経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胃経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胃経②	23	
9	主要穴の施鍼・施灸、脾経①	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、脾経②	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、心経・小腸経①	26	
12	主要穴の施鍼・施灸、心経・小腸経②	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②	29	
15	まとめ・総括③	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	加藤 俊亮	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (膀胱経、腎経、心包経、三焦経、胆経、肝経及び、奇穴・奇経八脈を含む)</li> <li>・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。</li> <li>・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要経穴を実際に指示できる。</li> <li>・主要経穴に施鍼、施灸ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 平常点30%(授業態度、出席状況、実技チェック等)、実技定期試験70% 正当な理由の無い欠席は1回につき-10点、遅刻早退は-5点				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼 Lタイプ: 寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技〈基礎編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経①	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経②	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、腎経①	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、腎経②	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、心包経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、三焦経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胆経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胆経②	23	
9	要穴の施鍼・施灸、肝経	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、奇穴①、まとめ	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、奇経八脈(任脈・督脈除く)	26	
12	まとめ・総括①	27	
13	まとめ・総括②	28	
14	まとめ・総括③	29	
15	まとめ・総括④	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	村松 篤	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (膀胱経、腎経、心包経、三焦経、胆経、肝経及び、奇穴・奇経八脈を含む)</li> <li>・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。</li> <li>・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要経穴を実際に指示できる。</li> <li>・主要経穴に施鍼、施灸ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験100点 出席点:欠席-5点、遅刻・早退-3点(正当な理由がある場合は除く) 平常点:0~50点(授業態度・心構えなど治療師として相応しくない場合)				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技(基礎編)				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経①	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経②	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、腎経①	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、腎経②	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、心包経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、三焦経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胆経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胆経②	23	
9	要穴の施鍼・施灸、肝経	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、奇穴①、まとめ	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、奇経八脈(任脈・督脈除く)	26	
12	まとめ総括①	27	
13	まとめ総括②	28	
14	まとめ総括③	29	
15	まとめ総括④	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	川瀬 有美子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (膀胱経、腎経、心包経、三焦経、胆経、肝経及び、奇穴・奇経八脈を含む)</li> <li>・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。</li> <li>・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要経穴を実際に指示できる。</li> <li>・主要経穴に施鍼、施灸ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験と平常点(欠席の場合減点)。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技〈基礎編〉				
留意点	白衣を脱ぐ場合がある為、肌着を着用してくること。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経①	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経②	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、腎経①	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、腎経②	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、心包経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、三焦経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胆経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胆経②	23	
9	要穴の施鍼・施灸、肝経	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、奇穴①、まとめ	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、奇経八脈(任脈・督脈除く)	26	
12	まとめ・総括①	27	
13	まとめ・総括②	28	
14	まとめ・総括③	29	
15	まとめ・総括④	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	はり、きゅう応用実習H-III	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	服部 吉隆	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する鍼灸施術を練習する。				
到達目標	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患の特徴を述べる事ができる。 ・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する代表的な鍼灸施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験60点、平常点等40点で総合的に評価する。				
使用機器,教材	ディスプレイダブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、2番、3番 寸6-2番、3番 ディスプレイダブル鍼 Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用テキスト等	はりきゅう実技〈基礎編〉、東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点	授業への恒常的な参加、課題への真摯な取り組みを期待します。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、神経・疼痛疾患(胸痛・腹痛)	16	
2	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	17	
3	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	18	
4	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	19	
5	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	20	
6	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	21	
7	神経・疼痛疾患(膝痛)	22	
8	神経・疼痛疾患(膝痛)	23	
9	神経・疼痛疾患(運動麻痺)	24	
10	神経・疼痛疾患(歯痛・頭痛)	25	
11	神経・疼痛疾患(顔面痛・顔面麻痺)	26	
12	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	27	
13	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	はり、きゅう応用実習H-III	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	佐藤 康彦	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する鍼灸施術を練習する。				
到達目標	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患の特徴を述べる事ができる。 ・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する代表的な鍼灸施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験の評価(60点)及び平常実技点(40点)の合計にて評価。				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼灸タイプ:寸3-1番、2番、3番 寸6-2番、3番 ディスプレイ型鍼灸 Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用 テキスト等	はりきゅう実技〈基礎編〉、東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点	後期臨床治療所入室に対して、医療人としての資質に注意をはらう。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、神経・疼痛疾患(胸痛・腹痛)	16	
2	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	17	
3	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	18	
4	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	19	
5	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	20	
6	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	21	
7	神経・疼痛疾患(膝痛)	22	
8	神経・疼痛疾患(膝痛)	23	
9	神経・疼痛疾患(運動麻痺)	24	
10	神経・疼痛疾患(歯痛・頭痛)	25	
11	神経・疼痛疾患(顔面痛・顔面麻痺)	26	
12	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	27	
13	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	はり、きゅう応用実習H-III	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	木幡 哲子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する鍼灸施術を練習する。				
到達目標	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患の特徴を述べる事ができる。 ・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する代表的な鍼灸施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験・平常点・出席の総合評価。				
使用 機器,教材	ディスプレイ鍼Jタイプ:寸3-1番、2番、3番 寸6-2番、3番 ディスプレイ鍼 Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用 テキスト等	はりきゅう実技〈基礎編〉、東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点	各自で実技復習を行う。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、神経・疼痛疾患(胸痛・腹痛)	16	
2	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	17	
3	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	18	
4	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	19	
5	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	20	
6	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	21	
7	神経・疼痛疾患(膝痛)	22	
8	神経・疼痛疾患(膝痛)	23	
9	神経・疼痛疾患(運動麻痺)	24	
10	神経・疼痛疾患(歯痛・頭痛)	25	
11	神経・疼痛疾患(顔面痛・顔面麻痺)	26	
12	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	27	
13	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	臨床実習入門H- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	加藤 俊亮	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。</li> <li>・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。</li> <li>・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査法を適切に行うことができる。</li> <li>・患者に適切な対応ができる。</li> </ul>				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。          平常点30% (授業態度、出席状況、実技チェック等)、定期試験70%          正当な理由のない欠席は1回につき-10点、遅刻早退は-5点</p>				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用 テキスト等	(中和作成) 臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・総合①	16	
2	総合②	17	
3	総合③	18	
4	頸上肢痛①	19	
5	頸上肢痛②	20	
6	頸上肢痛③	21	
7	頸上肢痛④	22	
8	頸上肢痛⑤	23	
9	頸上肢痛⑥	24	
10	頸上肢痛⑦	25	
11	腰下肢痛①	26	
12	腰下肢痛②	27	
13	腰下肢痛③	28	
14	自律神経失調症、まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	



## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	臨床実習入門H- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	高柳 好博	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。</li> <li>・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。</li> <li>・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査法を適切に行うことができる。</li> <li>・患者に適切な対応ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、授業態度、出席等を考慮し評価する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用 テキスト等	(中和作成) 臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点	治療師としての心構えを構築して下さい。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・総合①	16	
2	総合②	17	
3	総合③	18	
4	頸上肢痛①	19	
5	頸上肢痛②	20	
6	頸上肢痛③	21	
7	頸上肢痛④	22	
8	頸上肢痛⑤	23	
9	頸上肢痛⑥	24	
10	頸上肢痛⑦	25	
11	腰下肢痛①	26	
12	腰下肢痛②	27	
13	腰下肢痛③	28	
14	自律神経失調症、まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	臨床実習入門H- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。</li> <li>・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。</li> <li>・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査法を適切に行うことができる。</li> <li>・患者に適切な対応ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 100点満点中60点以上で合格 ①定期試験:70点、②平常点:30点 ※ただし1欠席につき-4点、1遅刻または1早退につき-2点を減点する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・総合①	16	
2	総合②	17	
3	総合③	18	
4	頸上肢痛①	19	
5	頸上肢痛②	20	
6	頸上肢痛③	21	
7	頸上肢痛④	22	
8	頸上肢痛⑤	23	
9	頸上肢痛⑥	24	
10	頸上肢痛⑦	25	
11	腰下肢痛①	26	
12	腰下肢痛②	27	
13	腰下肢痛③	28	
14	自律神経失調症、まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	臨床実習入門H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	加藤 俊亮	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。</li> <li>・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。</li> <li>・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査法を適切に行うことができる。</li> <li>・患者に適切な対応ができる。</li> <li>・臨床実習施術前実技試験に合格する。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 平常点30%(授業態度、出席状況、実技チェック等)、定期試験50%、臨床実習施術前実技試験20% 正当な理由のない欠席は1回につき-10点、遅刻早退は-5点				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点	指示された部位に苦痛なく鍼施術ができる。 施灸練習器に1分間に4壮以上半米粒大にて施灸できる。 中和式あん摩を適切に行うことができる。 要穴表の経穴を実際に取穴できる。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 復習	16	
2	五十肩①	17	
3	五十肩②	18	
4	五十肩③	19	
5	五十肩④	20	
6	膝関節痛①	21	
7	膝関節痛②	22	
8	膝関節痛③	23	
9	治療所教育①	24	
10	治療所教育②	25	
11	治療所教育③	26	
12	治療所教育④	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②		臨床実習前施術実技試験 学科
15	治療所教育⑤		臨床実習前施術実技試験 実技

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	臨床実習入門H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	高柳 好博	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。</li> <li>・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。</li> <li>・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査法を適切に行うことができる。</li> <li>・患者に適切な対応ができる。</li> <li>・臨床実習施術前実技試験に合格する。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、授業態度、出席等を考慮し評価する。				
使用 機器,教材	ディスボーザブル鍼Jタイプ:寸3-1、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番 ディスボーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点	指示された部位に苦痛なく鍼施術ができる。 施灸練習器に1分間に4壮以上半米粒大にて施灸できる。 中和式あん摩を適切に行うことができる。 要穴表の経穴を実際に取穴できる。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 復習	16	
2	五十肩①	17	
3	五十肩②	18	
4	五十肩③	19	
5	五十肩④	20	
6	膝関節痛①	21	
7	膝関節痛②	22	
8	膝関節痛③	23	
9	治療所教育①	24	
10	治療所教育②	25	
11	治療所教育③	26	
12	治療所教育④	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②		臨床実習前施術実技試験 学科
15	治療所教育⑤		臨床実習前施術実技試験 実技

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学期	後期
科目名	臨床実習入門H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。</li> <li>・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。</li> <li>・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査法を適切に行うことができる。</li> <li>・患者に適切な対応ができる。</li> <li>・臨床実習施術前実技試験に合格する。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 100点満点中60点以上で合格 ①定期試験:70点、②平常点:30点 ※ただし欠席につき-4点、1遅刻または1早退につき-2点を減点する。				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用テキスト等	(中和作成)臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点	指示された部位に苦痛なく鍼施術ができる。 施灸練習器に1分間に4壮以上半米粒大にて施灸できる。 中和式あん摩を適切に行うことができる。 要穴表の経穴を実際に取穴できる。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション 復習	16	
2	五十肩①	17	
3	五十肩②	18	
4	五十肩③	19	
5	五十肩④	20	
6	膝関節痛①	21	
7	膝関節痛②	22	
8	膝関節痛③	23	
9	治療所教育①	24	
10	治療所教育②	25	
11	治療所教育③	26	
12	治療所教育④	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②		臨床実習前施術実技試験 学科
15	治療所教育⑤		臨床実習前施術実技試験 実技

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ、はり、きゅう科		
		対象学年	2・3年	学 期	通年
科目名	臨床実習H	科目の別	実習	単位数	4
担当教員	清川 朝栄	実務経験	有	時間数	180
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般患者に対して、指導教員の指示のもとで、「あはき」施術を実際に行う。</li> <li>・臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> <li>・治療所の清潔・整頓などを実際に行う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録が適切にできる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 平常実技点80点、レポート20点で評価する。 平常実技は、出席(20点)・態度(20点)・臨床能力(40点)の総合で評価する。 レポートは、前期・後期の平均(20点)で評価する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1~3番、寸6-1~3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 小児鍼、皮内鍼、円皮鍼 各種検査器具および物理療法器具、あん摩手拭い、艾、各種温灸、オイル、キネシオテープ				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、経絡経穴概論				
留意点	患者とのコミュニケーション力を養うことが大切である。				
授業計画	2年次の1月から3年次の12月まで1週間に4コマ程度臨床実習を実施する。 また、学年末休業中及び夏期休業中に終日臨床実習を行う日が数回ある。 2, 3年次の期間で180時間以上臨床実習を実施する。				

# 本科3年生

本科  
(3年生)

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゆう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	関連療法H-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	服部 吉隆	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あはき師を取り巻く環境について学習する。</li> <li>・あはき師の業務(保険取扱い等)について学習する。</li> <li>・あはき師の役割について学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会におけるあはき師の役割・業務を理解する。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験(60点)、平常点等(40点)で総合的に評価する。				
使用 機器,教材					
使用 テキスト等	社会あはき学				
留意点	授業への恒常的な参加、課題への真摯な取り組み、授業内での積極的な発言を期待します。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	あはき師を取り巻く環境①	16	
2	あはき師を取り巻く環境②	17	
3	あはき師を取り巻く環境③	18	
4	あはき師を取り巻く環境④	19	
5	あはき師を取り巻く環境⑤	20	
6	地域で期待されるあはき師の業務①	21	
7	地域で期待されるあはき師の業務②	22	
8	地域で期待されるあはき師の業務③	23	
9	地域で期待されるあはき師の業務④	24	
10	現代社会におけるあはき師の役割①	25	
11	現代社会におけるあはき師の役割②	26	
12	施術所の経営展開①	27	
13	施術所の経営展開②	28	
14	施術所の経営展開③	29	
15	まとめ・総括	30	



## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゆう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	関連療法H-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	佐藤 康彦	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あはき師を取り巻く環境について学習する。</li> <li>・あはき師の業務(保険取扱い等)について学習する。</li> <li>・あはき師の役割について学習する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会におけるあはき師の役割・業務を理解する。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、授業に対する平常点で評価する。				
使用 機器,教材					
使用 テキスト等	社会あはき学				
留意点	将来のバイブルの意味において、あはき師とは何か?等々伝えられるように!				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	あはき師を取り巻く環境①	16	
2	あはき師を取り巻く環境②	17	
3	あはき師を取り巻く環境③	18	
4	あはき師を取り巻く環境④	19	
5	あはき師を取り巻く環境⑤	20	
6	地域で期待されるあはき師の業務①	21	
7	地域で期待されるあはき師の業務②	22	
8	地域で期待されるあはき師の業務③	23	
9	地域で期待されるあはき師の業務④	24	
10	現代社会におけるあはき師の役割①	25	
11	現代社会におけるあはき師の役割②	26	
12	施術所の経営展開①	27	
13	施術所の経営展開②	28	
14	施術所の経営展開③	29	
15	まとめ・総括	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	関連療法H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	服部 吉隆	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年次に修得した鍼灸技術、あんまマッサージ技術、物理療法などを踏まえて、患者の状態に応じた実践的な能力を養う。また施術者としての責任と使命を認識する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の状態や目的にそった検査、知識について述べられる。</li> <li>・患者の状態に応じた鍼灸・あんまマッサージ施術を行うことができる。</li> <li>・救急法、物理療法について概要を述べられる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験(60点)、平常点等(40点)で総合的に評価する。				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 皮内鍼、パルス、艾、テープ				
使用テキスト等	社会あはき学				
留意点	授業への恒常的な参加、課題への真摯な取り組み、授業内での積極的な発言を期待します。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・社会的ニーズとあはき師の役割	16	
2	併用するその他の療法	17	
3	要介護高齢者に対する機能回復訓練法とあはき治療①	18	
4	要介護高齢者に対する機能回復訓練法とあはき治療②	19	
5	子供のスポーツ障害の予防と治療①	20	
6	子供のスポーツ障害の予防と治療②	21	
7	スキンケア・ダイエットに応用するあはき治療	22	
8	ストレスが惹起する症状へのあはき治療①	23	
9	ストレスが惹起する症状へのあはき治療②	24	
10	産業衛生におけるあはき治療	25	
11	スポーツ傷害とあはき施術①	26	
12	スポーツ傷害とあはき施術②	27	
13	がん治療に伴う愁訴へのアプローチ	28	
14	人工透析・リンパ浮腫患者へのアプローチ	29	
15	まとめ・総括	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	関連療法H-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	佐藤 康彦	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年次に修得した鍼灸技術、あんまマッサージ技術、物理療法などを踏まえて、患者の状態に応じた実践的な能力を養う。また施術者としての責任と使命を認識する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の状態や目的にそった検査、知識について述べられる。</li> <li>・患者の状態に応じた鍼灸・あんまマッサージ施術を行うことができる。</li> <li>・救急法、物理療法について概要を述べられる。</li> </ul>				
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</li> <li>・定期試験(疾患別の鍼治療及び患者への接遇等)にて評価。</li> <li>・実技授業中の平常点を含む。</li> </ul>				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 皮内鍼、パルス、艾、テープ				
使用テキスト等	社会あはき学				
留意点	国試に向う中で、免許取得後最低限の臨床治療が出来る様にする。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・社会的ニーズとあはき師の役割	16	
2	併用するその他の療法	17	
3	要介護高齢者に対する機能回復訓練法とあはき治療①	18	
4	要介護高齢者に対する機能回復訓練法とあはき治療②	19	
5	子供のスポーツ障害の予防と治療①	20	
6	子供のスポーツ障害の予防と治療②	21	
7	スキンケア・ダイエットに応用するあはき治療	22	
8	ストレスが惹起する症状へのあはき治療①	23	
9	ストレスが惹起する症状へのあはき治療②	24	
10	産業衛生におけるあはき治療	25	
11	スポーツ傷害とあはき施術①	26	
12	スポーツ傷害とあはき施術②	27	
13	がん治療に伴う愁訴へのアプローチ	28	
14	人工透析・リンパ浮腫患者へのアプローチ	29	
15	まとめ・総括	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	はりきゅう応用実習H-IV	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	坂本 幹男	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	・整形外科疾患・内科疾患・スポーツ障害(傷害)に必要な検査、知識について述べられる。 ・整形外科疾患・内科疾患・スポーツ障害(傷害)に対し安全に鍼灸の施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験を中心に授業態度・出欠時間数を加味し、100点満点とする。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:1寸-01番・02番、寸3-1番・2番・3番、寸6-2番・3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用 テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	肩こり	16	
2	腰下肢痛	17	
3	膝痛	18	
4	運動麻痺	19	
5	歯痛	20	
6	眼精疲労	21	
7	鼻閉・鼻汁	22	
8	脱毛症	23	
9	めまい	24	
10	のぼせと冷え	25	
11	発熱	26	
12	発疹	27	
13	スポーツ	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学期	前期
科目名	はりきゅう応用実習H-IV	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	右田 一弘	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科疾患・内科疾患・スポーツ障害(傷害)に必要な検査、知識について述べられる。</li> <li>・整形外科疾患・内科疾患・スポーツ障害(傷害)に対し安全に鍼灸の施術ができる。</li> </ul>				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験で評価する。</li> <li>・授業態度等について評価する。</li> <li>・出席について評価する。</li> </ul>				
使用機器,教材	<p>ディスプレイ型鍼灸タイプ:1寸-01番・02番、寸3-1番・2番・3番、寸6-2番・3番                  ディスプレー型鍼灸タイプ:寸3-3番、寸6-3番                  艾、パルス</p>				
使用テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	肩こり	16	
2	腰下肢痛	17	
3	膝痛	18	
4	運動麻痺	19	
5	歯痛	20	
6	眼精疲労	21	
7	鼻閉・鼻汁	22	
8	脱毛症	23	
9	めまい	24	
10	のぼせと冷え	25	
11	発熱	26	
12	発疹	27	
13	スポーツ	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学期	前期
科目名	はりきゅう応用実習H-IV	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	・整形外科疾患・内科疾患・スポーツ障害(傷害)に必要な検査、知識について述べられる。 ・整形外科疾患・内科疾患・スポーツ障害(傷害)に対し安全に鍼灸の施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 100点満点中60点以上で合格 ①定期試験:70点、②平常点:30点 ※ただし欠席につき-4点、1遅刻または1早退につき-2点を減点する。				
使用機器,教材	ディスプレイ鍼Jタイプ:1寸-01番・02番、寸3-1番・2番・3番、寸6-2番・3番 ディスプレイ鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	肩こり	16	
2	腰下肢痛	17	
3	膝痛	18	
4	運動麻痺	19	
5	歯痛	20	
6	眼精疲労	21	
7	鼻閉・鼻汁	22	
8	脱毛症	23	
9	めまい	24	
10	のぼせと冷え	25	
11	発熱	26	
12	発疹	27	
13	スポーツ	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科	
		対象学年	3年	学 期
				後期
科目名	はりきゅう応用実習H-V	科目の別	実習	単位数
				1
担当教員	坂本 幹男	実務経験	有	時間数
				30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。			
到達目標	・内科疾患に必要な検査、知識について述べられる。 ・内科疾患に対し安全に鍼灸の施術ができる。			
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験を中心に授業態度・出欠時間数を加味し、100点満点とする。			
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:1寸-01番・02番、寸3-1番・2番・3番、寸6-2番・3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス、各種小児鍼			
使用 テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉			
留意点				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	咳嗽	16	
2	腹痛	17	
3	悪心・嘔吐	18	
4	便秘・下痢	19	
5	月経異常	20	
6	排尿障害・勃起不全(ED)	21	
7	耳鳴り・難聴	22	
8	疲労倦怠	23	
9	食欲不振	24	
10	不眠	25	
11	血圧異常	26	
12	肥満	27	
13	小児	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学期	後期
科目名	はりきゅう応用実習H-V	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	右田 一弘	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科疾患に必要な検査、知識について述べられる。</li> <li>・内科疾患に対し安全に鍼灸の施術ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験で評価する。</li> <li>・授業態度等について評価する。</li> <li>・出席について評価する。</li> </ul>				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:1寸-01番・02番、寸3-1番・2番・3番、寸6-2番・3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス、各種小児鍼				
使用テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	咳嗽	16	
2	腹痛	17	
3	悪心・嘔吐	18	
4	便秘・下痢	19	
5	月経異常	20	
6	排尿障害・勃起不全(ED)	21	
7	耳鳴り・難聴	22	
8	疲労倦怠	23	
9	食欲不振	24	
10	不眠	25	
11	血圧異常	26	
12	肥満	27	
13	小児	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	



## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	はりきゅう応用実習H-V	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	30
学修内容	1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科疾患に必要な検査、知識について述べられる。</li> <li>・内科疾患に対し安全に鍼灸の施術ができる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 100点満点中60点以上で合格 ①定期試験:70点、②平常点:30点 ※ただし欠席につき-4点、1遅刻または1早退につき-2点を減点する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:1寸-01番・02番、寸3-1番・2番・3番、寸6-2番・3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス、各種小児鍼				
使用 テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	咳嗽	16	
2	腹痛	17	
3	悪心・嘔吐	18	
4	便秘・下痢	19	
5	月経異常	20	
6	排尿障害・勃起不全(ED)	21	
7	耳鳴り・難聴	22	
8	疲労倦怠	23	
9	食欲不振	24	
10	不眠	25	
11	血圧異常	26	
12	肥満	27	
13	小児	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科	
		対象学年	3年	学 期
				後期
科目名	はりきゅう応用実習H-VI	科目の別	実習	単位数
				1
担当教員	清水 洋二	実務経験	有	時間数
				30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅治療での移乗動作等を知り、実際に行う。</li> <li>・治療院経営等に関わる税の仕組みを知る。</li> <li>・はりきゅう保険適応疾患について鍼灸施術や物理療法等を用い、より幅広くニーズに沿える実践的な能力を養う。</li> </ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患や患者さん個々の状況などに対して、それらに対する必要な知識、鍼灸技術、物理療法など総合的な対応を述べられる。</li> </ul>			
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 平常点(出席等)、課題レポート			
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種装具、杖、車椅子、艾、パルス、介護基礎関連消耗品			
使用 テキスト等	プリント			
留意点				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	介護基礎(体位変換)	16	
2	介護基礎(ベット移動)	17	
3	介護基礎(杖・装具)	18	
4	介護基礎(車椅子移動)	19	
5	介護基礎(栄養・嚥下)	20	
6	治療院経営(税について)	21	
7	治療院経営(税について)	22	
8	はりきゅう保険適応疾患(五十肩)	23	
9	はりきゅう保険適応疾患(頸肩腕症候群)	24	
10	はりきゅう保険適応疾患(腰痛症)	25	
11	はりきゅう保険適応疾患(頸椎捻挫)	26	
12	はりきゅう保険適応疾患(リウマチ)	27	
13	はりきゅう保険適応疾患(神経痛)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学期	後期
科目名	はりきゅう応用実習H-VI	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	加藤 俊亮	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅治療での移乗動作等を知り、実際に行う。</li> <li>・治療院経営等に関わる税の仕組みを知る。</li> <li>・はりきゅう保険適応疾患について鍼灸施術や物理療法等を用い、より幅広くニーズに沿える実践的な能力を養う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患や患者さん個々の状況などに対して、それらに対する必要な知識、鍼灸技術、物理療法など総合的な対応を述べられる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 平常点60% (出席状況、授業態度、実技チェック等)、定期試験40% 正当な理由の無い欠席は1回につき-10点、早退遅刻については-5点				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 各種装具、杖、車椅子、艾、パルス、介護基礎関連消耗品				
使用テキスト等	プリント				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	介護基礎(体位変換)	16	
2	介護基礎(ベット移動)	17	
3	介護基礎(杖・装具)	18	
4	介護基礎(車椅子移動)	19	
5	介護基礎(栄養・嚥下)	20	
6	治療院経営(税について)	21	
7	治療院経営(税について)	22	
8	はりきゅう保険適応疾患(五十肩)	23	
9	はりきゅう保険適応疾患(頸肩腕症候群)	24	
10	はりきゅう保険適応疾患(腰痛症)	25	
11	はりきゅう保険適応疾患(頸椎捻挫)	26	
12	はりきゅう保険適応疾患(リウマチ)	27	
13	はりきゅう保険適応疾患(神経痛)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	はりきゅう応用実習H-VI	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	伊藤 奨	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅治療での移乗動作等を知り、実際に行う。</li> <li>・治療院経営等に関わる税の仕組みを知る。</li> <li>・はりきゅう保険適応疾患について鍼灸施術や物理療法等を用い、より幅広くニーズに沿える実践的な能力を養う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患や患者さん個々の状況などに対して、それらに対する必要な知識、鍼灸技術、物理療法など総合的な対応を述べられる。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 100点満点中60点以上で合格 ①定期試験:60点、②平常点:40点 ※ただし欠席につき-10点、1遅刻または1早退につき-5点を減点する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種装具、杖、車椅子、艾、パルス、介護基礎関連消耗品				
使用 テキスト等	プリント				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	介護基礎(体位変換)	16	
2	介護基礎(ベット移動)	17	
3	介護基礎(杖・装具)	18	
4	介護基礎(車椅子移動)	19	
5	介護基礎(栄養・嚥下)	20	
6	治療院経営(税について)	21	
7	治療院経営(税について)	22	
8	はりきゅう保険適応疾患(五十肩)	23	
9	はりきゅう保険適応疾患(頸肩腕症候群)	24	
10	はりきゅう保険適応疾患(腰痛症)	25	
11	はりきゅう保険適応疾患(頸椎捻挫)	26	
12	はりきゅう保険適応疾患(リウマチ)	27	
13	はりきゅう保険適応疾患(神経痛)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学期	前期
科目名	あん摩マッサージ指圧総合実習	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	後藤 聡子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年次に修得した、あま指の基本手技を応用し、アロマセラピーの知識とオイルマッサージの手技を学び、患者に対する施術の実際と技術の向上を目指す。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの知識を理解する。</li> <li>・オイルマッサージの手技ができる。</li> <li>・施術者としての責任と使命を認識する。</li> </ul>				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 1. 身体に対する施術(20分間) ①客観的評価(教員) ②主観的評価(モデル) 2. 出席等の平常点				
使用機器,教材	精油(20種類程度)、ベースオイル				
使用テキスト等	オリジナルテキスト				
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オイル使用時にパッチテスト等を行うこと。</li> <li>・皮膚等のトラブルや体調不良が生じた場合、教員にその旨を報告すること。</li> </ul>				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、備品の配布	16	
2	精油学総論①	17	
3	実技全般①	18	
4	精油学各論①	19	
5	実技全般②	20	
6	精油学各論②	21	
7	実技全般③	22	
8	精油学各論③	23	
9	実技全般④	24	
10	精油学各論④	25	
11	実技全般⑤	26	
12	実技全般⑥	27	
13	実技全般⑦	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	通年
科目名	はりきゅう総合実習H	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	清川 朝栄	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・「経絡治療」の概略を知った上で、「証」に基づく選穴を考える能力を身に付ける。また、1, 2年次に習得したはりきゅうの手技を駆使し、補瀉を活用できる能力を身に付ける。				
到達目標	・経絡治療の概念を理解する。 ・診察方法を知り、証立てを意識できるようになる。 ・補瀉の手技ができるようになる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 ・平常点(50点)と定期試験(50点)で評価する。 ・平常点は、出席と実技練習態度の総合評価とする。 ・定期試験は、はき実技と口頭試問の総合で評価する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番 銀 鍼: 寸3-2番 艾				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、配付資料				
留意点	リズムよく施術出来るように練習することがポイントである。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	経絡治療とは	17	
3	施術原則について	18	
4	診察の練習	19	
5	各証の施術方法①	20	
6	各証の施術方法②	21	
7	各証の施術方法③	22	
8	各証の施術方法④	23	
9	各証の施術方法⑤	24	
10	各証の施術方法⑥	25	
11	各証の施術方法⑦	26	
12	各証の施術方法⑧	27	
13	各証の施術方法⑨	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

## 2019年度 授業計画

		科	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学期	通
科目名	臨床実習H	科目の別	実習	単位数	3
担当教員	清川 朝栄	実務経験	有	時間数	135
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内附属治療所にみえる一般外来患者に対して、指導教員の指示のもと「あはき」施術を実際に行う。</li> <li>・臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。</li> <li>・治療所の清潔・整頓などを実際に行う。</li> </ul>				
到達目標	臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録が適切にできる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 ・平常実技点 80点、レポート 20点 ・平常実技は、出席(20点)・態度(20点)・臨床能力(40点)の総合で評価する。 ・レポートは、前期・後期の平均(20点)で評価する。				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1~3番、寸6-1~3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 小児鍼、皮内鍼、円皮鍼 各種検査器具および物理療法器具、あん摩手拭い、艾、各種温灸、オイル、キネシオテープ				
使用テキスト等	(中和作成) 臨床入門、経絡経穴概論				
留意点					
授業計画	3年次の4月から12月まで1週間に4コマ程度臨床実習を実施する。 また、夏期休業中に終日臨床実習を行う日が数回ある。 3年次の期間で135時間以上臨床実習を実施する。				